

## 問題 I

以下の文章の空欄 (1) (2) から (9) (10) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (ケ) に関連する設問 1 から 8 について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

感染症の大流行は、社会・国家・世界を揺さぶり、人類の歴史を大きく変える契機となってきた。

ユーラシア大陸を東西に繰り返し往来し、各時代、各地域で多大な影響を及ぼした感染症の 1 つにペストがある。ヨーロッパで記録に残る最古の流行は、<sup>(ア)</sup> ユスティニアヌス大帝の統治下にあるビザンツ帝国で生じた。彼自身ペストに罹患し、回復はしたものの、その影響でガリアやイギリスへの侵攻計画は廃棄され、彼のローマ帝国再興への野望は頓挫させられた。<sup>(イ)</sup> 中国でも、これと同根と目されるペストの流行がビザンツでの流行から約70年後に生じて、社会の混乱に拍車がかかり、時の王朝の滅亡へとつながった。

14世紀に生じたヨーロッパ史最大のペストの流行の背景には、モンゴル帝国の版図拡大がある。モンゴル軍は、破竹の勢いでヨーロッパに到達し、また1258年には皇帝 (1) (2) の命で西アジアに遠征してバグダードを陥落させた。こうした軍隊の東西移動や、それに続く東西交易の活発化が、のちにペストをヨーロッパにもたらすこととなった。14世紀のペストの流行は、<sup>(ウ)</sup> 1334年に中国で生じていたが、中央アジアから西へ伝播し、1347年に<sup>(エ)</sup> シチリア島に上陸すると、<sup>(オ)</sup> またたく間にヨーロッパ全土に広がった。 さらに、ペストは地中海商業網にそってイスラーム世界にも広がった。エジプトを支配し紅海と地中海を結ぶ交易をおさえて繁栄していた (3) (4) は、14世紀後半のペストの流行が一因となり衰退へ向かった。

中世ヨーロッパを襲ったペストの流行は、人々の心理にもさまざまな影響をもたらした。例えば、利己的な欲望の追求や浪費に身を委ねる動きである。『 (5) (6) 』に表された社交・機知・ユーモア・エロスには、ペストの恐怖からの心理的逃亡を見てとることができる。また、ペスト禍を神からの試練と考え、懺悔して神に頼る心も醸成された。しかし、教会にはペスト禍を抑える力はなく、次第に教会に対する幻滅の感情が芽生えた。<sup>(カ)</sup> こうした教会の威信や権威の失墜と個人的な宗教的情熱の高まりは、のちの宗教改革の底流となった。 さらにペストは、災禍の犯人を仕立て上げて迫害する心理をも生み出した。その代表例がユダヤ人に対するものである。ユダヤ人の一部は東欧に逃れ、 (7) (8) とよばれる離散ユダヤ人の礎となった。

アメリカ大陸の歴史で特筆されるべき感染症としては、天然痘がある。「旧大陸」からもたらされた天然痘により、免疫力のない「新大陸」の先住民は次々と死んでいった。<sup>(キ)</sup> アステカ王国やインカ帝国がスペインに征服された最大の要因は、馬や鉄製兵器をもたなかったことというよりも、天然痘の流行による兵力の喪失であったといわれている。 また、フレンチ=インディアン戦争において、イギリス軍が親切心を装って天然痘ウイルスをすり込んだ毛布を先住民に支給し感染させたのは、人類史上初の生物兵器の使用例ともいわれている。この戦争に勝利を収めたイギリスは、ミシシッピ以東のルイジアナやカナダ、<sup>(ク)</sup> フロリダの譲渡を受け、北アメリカにおける支配権を確立した。

スペイン風邪は、<sup>(ケ)</sup> 第一次世界大戦中に生じたインフルエンザの世界的大流行の俗称であり、世界総人口の3分の1が感染し、死者数は5000万人に及ぶとも推計されている。 各国の兵士が送り込まれたヨーロッパ戦線で流行がはじまり、一気に世界中に広まった。シュリーフェン=プランが挫折した (9) (10) の地で1918年7月にドイツ軍が連合軍を前にふたたび敗走したのは、インフルエンザの蔓延で兵力が維持できなかったからだともされる。

これまで幾度となく繰り返されてきた感染症との闘いに、人類はどう挑み、乗り越えていくのか、これからも試練は延々と続いていくに違いない。

[設問 1]

下線部 (ア) に関連して、ユスティニアヌス大帝が行ったことの記述として誤っているものを下から選び、その番号を   にマークしなさい。

- [01] ササン朝のホスロー 1 世との戦いにたびたび勝利し、多額の賠償金を得た。
- [02] 将軍ベルサリオスを派遣してヴァンダル王国を征服させた。
- [03] 古代ローマの勅法集・学説集・法学論に自身の新法を加えた『ローマ法大全』を集成した。
- [04] 大ドームを特徴とするビザンツ様式のハギア=ソフィア聖堂を再建した。
- [05] 異教文化の根絶のため、アテネのアカデメイアを閉鎖し、学者を追放した。

[設問 2]

下線部 (イ) と (ウ) に関連して、それぞれの時代における中国の王朝の記述として正しいものを下から選び、その番号を   にマークしなさい。

- [01] どちらの王朝も、江南に位置する国を滅ぼして中国の南北統一支配を達成した。
- [02] それぞれの王朝の首都は、名称は異なるものの、同じ場所に置かれていた。
- [03] どちらの王朝も、一時的であれ、朝鮮半島にあった国を支配下におさめていた。
- [04] 官吏の登用については、どちらの王朝でも儒学の知見をはかる能力試験の結果が重視されていた。
- [05] どちらの王朝も、最後の皇帝が次に中国を支配した王朝の軍に殺されて終焉した。

[設問 3]

下線部 (エ) に関連して、シチリア島の歴史についての以下の記述のうち誤っているものすべてを選んだ場合、もっとも適切な組み合わせを [01] から [18] より選び、その番号を   にマークしなさい。

- (a) 第 3 次ポエニ戦争で将軍ハンニバルが率いるカルタゴに勝利したローマは、その後シチリア島をはじめての属州とした。
- (b) 6 世紀には、イタリア半島を席卷したランゴバルド王国が、東ゴート王国をしりぞけてシチリア島に進出し、支配を始めた。
- (c) 12 世紀には、ルッジェーロ 2 世が、シチリア島と南イタリアとを占拠していたイスラーム勢力を圧倒してノルマン朝のシチリア王国を成立させた。
- (d) 13 世紀には、シチリア王国からナポリ王国が分離し、以後、シチリア王国はイベリア半島にあるアラゴン王国の王家が支配をするようになった。
- (e) ナポレオン戦争後のウィーン体制のもと、スペイン=ブルボン家によってシチリア王国とナポリ王国が統合され、両シチリア王国を称した。
- (f) サルディーニャ王国の首相カザールの命を受けたガリバルディは、シチリア島を占領した後、両シチリア王国の首都ナポリを奪取し、これら占領地をサルディーニャ王に献上した。

- |                  |                  |                  |
|------------------|------------------|------------------|
| [01] (a) (b)     | [02] (a) (b) (c) | [03] (a) (b) (f) |
| [04] (a) (c)     | [05] (a) (c) (d) | [06] (a) (e) (f) |
| [07] (a) (f)     | [08] (b) (c)     | [09] (b) (c) (d) |
| [10] (b) (d) (e) | [11] (b) (e) (f) | [12] (b) (f)     |
| [13] (c) (d) (e) | [14] (c) (e)     | [15] (d) (c)     |
| [16] (d) (e) (f) | [17] (d) (f)     | [18] (e) (f)     |

[設問 4]

下線部 (オ) に関連して、ペストの流行を背景として生じた中世末のヨーロッパ社会の変容をあらわした記述として誤っているものを下から選び、その番号を 

(17)	(18)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 領主は、荘園での労働力を確保するため、賃金を上げたり、農奴的束縛からの解放をするなど、農民の待遇向上を図った。
- [02] イギリスでは、労働者の不足に起因する賃金上昇を抑えるため、国王が賃金をペスト流行以前の水準に固定することなどを勅令で定めたが、奏功しなかった。
- [03] フランスでは、領主が封建的束縛を再び強化する動きを示したのに対し、これに反発した農民がジャックリーの乱をおこして勝利し、身分的自由を獲得した。
- [04] プロイセンでは、領主が自由農民を農奴化し、賦役労働により輸出用穀物を生産する農場領主制がみられるようになった。
- [05] 窮乏した中小領主のなかには国王や大諸侯に領地を接収されるものも多く、やがて諸侯の力をおさえた国王は権力を強化させ、中央集権的な体制を整えていった。

[設問 5]

下線部 (カ) に関連して、宗教改革についての記述として誤っているものを下から選び、その番号を 

(19)	(20)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] エラスムスは、聖書研究に力を注ぎ、ルターにも大きな影響を与えたが、教会の分裂を引き起こすルターの宗教改革に対しては批判的な態度をとった。
- [02] ミュンツァーは、当初はルターを信奉していたが、その後、下層階級の要求を抑圧し諸侯に妥協しているとして、ルターの姿勢を批判するようになった。
- [03] ツヴィングリは、信仰と聖書こそが重要であると説きカトリックを批判した点ではルターと変わらなかったが、教会儀式をめぐる見解の相違から、両者の協力関係は築かれなかった。
- [04] カルヴァンは、神の救いは信じる者すべてに与えられるとしたルターとは異なり、神は救われる者とそうでない者をあらかじめ区別すると説いた。
- [05] ヘンリ 8 世は、ルターの教説に影響を受けてカトリックを批判するようになり、自身の離婚・再婚を認めないローマ教皇から破門されたのを機に、カトリックから離脱した。

[設問 6]

下線部 (キ) に関連して、スペイン商人はマニラとの間を結んで銀や絹製品などの貿易を行ったが、その際にラテンアメリカ側で拠点とした太平洋岸の港はどこか。語群から選び、その番号を 

(21)	(22)
------	------

 にマークしなさい。

[設問 7]

下線部 (ク) に関連して、フロリダを領有する国の変遷を正しく表したものを下から選び、その番号を

(23) (24) にマークしなさい。

- [01] スペイン → フランス → イギリス → アメリカ合衆国
- [02] スペイン → イギリス → スペイン → アメリカ合衆国
- [03] スペイン → イギリス → フランス → アメリカ合衆国
- [04] フランス → スペイン → イギリス → アメリカ合衆国
- [05] フランス → イギリス → フランス → アメリカ合衆国
- [06] フランス → イギリス → スペイン → アメリカ合衆国

[設問 8]

下線部 (ケ) に関連して、第一次世界大戦中の (a) から (f) の出来事を古い順に正しく並べたものを [01] から

[08] より選び、その番号を (25) (26) にマークしなさい。

- (a) バルフォア宣言
- (b) ロシア「平和に関する布告」の採択
- (c) 無制限潜水艦作戦の宣言
- (d) プレスト=リトフスク条約の成立
- (e) 日本のシベリア出兵
- (f) ウィルソン「十四カ条」の発表

- [01] (a) → (b) → (c) → (d) → (f) → (e)
- [02] (a) → (c) → (b) → (d) → (e) → (f)
- [03] (a) → (c) → (f) → (e) → (b) → (d)
- [04] (c) → (a) → (b) → (e) → (f) → (d)
- [05] (c) → (a) → (b) → (f) → (d) → (e)
- [06] (c) → (a) → (b) → (e) → (d) → (f)
- [07] (c) → (a) → (f) → (b) → (d) → (e)
- [08] (c) → (b) → (f) → (a) → (e) → (d)

[語群]

- |              |             |              |             |
|--------------|-------------|--------------|-------------|
| 01. アイユープ朝   | 02. アカプルコ   | 03. アシュケナジム  | 04. イシューブ   |
| 05. イープル     | 06. イル=ハン国  | 07. ヴェルダン    | 08. エーヌ     |
| 09. オゴタイ     | 10. オスマン帝国  | 11. カラカス     | 12. カンタベリ物語 |
| 13. キト       | 14. 愚神礼賛    | 15. グユク      | 16. クリムチャク  |
| 17. ゲッター     | 18. サントドミンゴ | 19. サンフランシスコ | 20. セファルディム |
| 21. ソンム      | 22. タンネンベルク | 23. ティムール朝   | 24. デカメロン   |
| 25. テノチティトラン | 26. ドン=キホーテ | 27. バトゥ      | 28. ファーティマ朝 |
| 29. フビライ     | 30. フラグ     | 31. ベラクルス    | 32. マムルーク朝  |
| 33. マルヌ      | 34. ミズヒラム   | 35. モンケ      | 36. ユートピア   |

## 問題 II

以下の文章の下線部（ア）から（シ）に関連する設問 1 から 12 について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

歴史について考えるとき、どのように時代を区分するのかという問題は、極めて重要である。今日多くの人は、キリストの生誕をもって紀元前と紀元後に世界史を区切ることを当然の習慣として受け入れている。しかしキリスト教徒以外の人も含む、人類すべての歴史について考えるためには、もっと違った時代区分があってもよいのではないか。<sup>(ア)</sup>先史時代から<sup>(イ)</sup>歴史時代へと続く人類史の全体をとらえるために、どのような時代区分を設けることができるだろうか。

ドイツの哲学者ヤスパースは、人間の精神のあり方を劇的に変える思想が生み出された<sup>(ウ)</sup>紀元前 [ A ] 年から紀元前 [ B ] 年を<sup>(エ)</sup>「軸の時代」と称した。この時代に考え抜かれ、創造された思想が、今日に至るまでの人類の歩みを支えてきたというのである。中国では、周王朝の弱体化によって春秋・戦国時代が始まり、孔子、墨子、荘子、荀子などの諸子百家とよばれる多彩な思想家が現れた。インドでは、ガンジス川流域の小国家群の発展を背景として、ガウタマ＝シッダールタの<sup>(オ)</sup>仏教やヴァルダマーナのジャイナ教が生まれた。<sup>(カ)</sup>ギリシアでは、ホメロスの叙事詩をはじめとする数多くの文学作品やヘロドトスやトゥキディデスの歴史書などが登場し、ソクラテス、プラトン、<sup>(キ)</sup>アリストテレスらの哲学者が活躍した。ユダヤ人が<sup>(ク)</sup>バビロン捕囚を経てユダヤ教の教義を大きく発展させたのもこの時代である。

この時代は後世に様々な遺産を残した。例えば、中国において<sup>(ク)</sup>諸子百家の思想は、その後の政治のみならず<sup>(コ)</sup>社会や文化にも大きな影響を与えてきた。また仏教は<sup>(カ)</sup>アジアに広く伝播し、各地で独自の発展を遂げた。ギリシアの文化がローマに引き継がれ、西洋文明の発展の礎となったことや、ユダヤ教の教典がのちにキリスト教やイスラーム教に受け継がれていったことは誰もがよく知るところである。

ヤスパースは、「軸の時代」こそが、人類史におけるもっとも重要な転換期であると考えた。彼の設定した時代区分には批判もあるが、ギリシアやユダヤの思想のみならず、中国やインドの思想にまで射程を拡大しながら、人類史のもっとも重要な切れ目がどこにあるのかを考え直そうとした彼の問題意識は、傾聴に値する。<sup>(シ)</sup>環境問題や難民問題の深刻化など地球規模の課題に直面する現代のわれわれは、今また、人類史における巨大な転換期にさしかかっている。新たな時代を創出する思想を見いだす努力が重ねられていくべきだろう。

### [設問 1]

下線部（ア）に関連して、約700万年前から600万年前のものとして推定される猿人の頭骨化石が、2001年にアフリカのチャドで発見された。この猿人の名称を語群から選び、その番号を    にマークしなさい。

[設問 2]

下線部 (イ) に関連して、歴史時代を研究する手がかりとなる文字資料についての説明として誤っているものを下から選び、その番号を   にマークしなさい。

- [01] ナポレオンのエジプト遠征隊が発見したロゼッタ=ストーンには、ヒエログリフ、デモティック、ギリシア文字が用いられていた。
- [02] マウリヤ朝のアショーカ王が岩壁や石柱に刻ませた詔勅には、古代インドの文字だけでなく、ギリシア文字、アラム文字が用いられたものもある。
- [03] インダス文明の遺跡から発見されている象形文字は、ドラヴィダ系の言語と推定されているが、依然として解読されていない。
- [04] 漢代には、石に刻まれた篆書に加えて、木簡や竹簡に書きやすいように字画が整理された隸書も広く用いられるようになった。
- [05] アッバース朝第2代カリフのマンスールは、「知恵の館」においてギリシア語の文献をアラビア語に翻訳する事業を推進した。

[設問 3]

下線部 (ウ) に関連して、文中の空欄 [ A ] と [ B ] に入るもっとも適切な数字の組み合わせを下から選び、その番号を   にマークしなさい。

- [01] A=500 B=100
- [02] A=600 B=100
- [03] A=700 B=200
- [04] A=800 B=200
- [05] A=900 B=300

[設問 4]

下線部 (エ) に関連して、この時代に起きた以下の世界史上の出来事 (a) から (f) を、古い順に正しく並べたものを [01] から [08] より選び、その番号を   にマークしなさい。

- (a) ソロンの改革が行われる。
- (b) 韓、魏、趙が周王から諸侯と認められる。
- (c) アレクサンドロス大王がバビロンで急死する。
- (d) チャンドラグプタがマウリヤ朝を創立する。
- (e) 陳勝・呉広の乱が始まる。
- (f) 第2次ポエニ戦争が終わる。

- [01] (a) → (b) → (c) → (d) → (e) → (f)
- [02] (a) → (b) → (c) → (d) → (f) → (e)
- [03] (a) → (b) → (d) → (c) → (e) → (f)
- [04] (a) → (b) → (d) → (c) → (f) → (e)
- [05] (b) → (a) → (c) → (d) → (e) → (f)
- [06] (b) → (a) → (c) → (d) → (f) → (e)
- [07] (b) → (a) → (d) → (c) → (e) → (f)
- [08] (b) → (a) → (d) → (c) → (f) → (e)

[設問 5]

下線部（オ）に関連して、仏教が生まれた時代のインドにおいて十六大国とよばれた国家群のうち、コーサラを征服しガンジス川流域の統一を成し遂げた国家を語群から選び、その番号を   にマークしなさい。

[設問 6]

下線部（カ）に関連して、ギリシア世界が先進的なエジプト文化を吸収する上で大きな役割を果たしたことで知られる、ナイル川デルタ地帯のギリシア人植民市を語群から選び、その番号を   にマークしなさい。

[設問 7]

下線部（キ）の人物に関する説明として誤っているものを下から選び、その番号を   にマークしなさい。

- [01] アリストテレスは、のちにマケドニア王となるアレクサンドロスの家庭教師を務め、彼に大きな影響を与えた。
- [02] アリストテレスの哲学を取り込んで発達した中世のスコラ学においては、実在論と唯名論の立場の間で単子（モノイド）に関する論争が繰り広げられた。
- [03] アリストテレスの哲学から影響を受けてイスラム哲学を大成させたイブン=シーナーは医学者でもあった。
- [04] イブン=ルシュドはアリストテレスの著作に対する注釈書を執筆し、これらの多くは13世紀にラテン語に翻訳された。
- [05] 性善説や仁義を唱えた諸子百家のひとりである孟子は、アリストテレスと存命期間が重なる同時代人である。

[設問 8]

下線部（ク）に関連して、バビロン捕囚後のユダヤ人に関わる説明として誤っているものを下から選び、その番号を   にマークしなさい。

- [01] キュロス 2 世の勅命によって、ユダヤ人はパレスチナに帰還することを認められた。
- [02] ダレイオス 1 世の時代、ユダヤ人は弾圧を受け信仰を禁じられたが、『旧約聖書』の核となる文書の整備が進められるなどユダヤ教の教義は大きく発展した。
- [03] セレウコス朝のアンティオコス 4 世は、ユダヤ人にギリシアの文化と宗教を受け入れることを求め、エルサレムの神殿にゼウスの像を安置した。
- [04] 紀元前 1 世紀、東方支配をすすめるポンペイウスの率いるローマ軍はエルサレムを攻め落とし、これによってユダヤ人はローマの支配下に入った。
- [05] 1 世紀後半と 2 世紀前半に、パレスチナのユダヤ人はローマの支配に反乱を企てたが、鎮圧された。

[設問 9]

下線部（ケ）に関連して、中国の歴代王朝と諸子百家の思想の関わりについての説明として誤っているものを下から選び、その番号を   にマークしなさい。

- [01] 縦横家の蘇秦は、諸国に秦との連衡を説いて成功をおさめたが、秦を去って魏に仕えた。
- [02] 前漢の高祖は、法家思想にもとづく秦の法律や制度を継承しながらも、老子の「無為の治」の考え方も取り入れて王朝支配の安定化を目指した。
- [03] 董仲舒は、陰陽五行説を取り込んだ災異説や天人相関論を打ち出すことによって、儒教を王朝支配を正当化する思想へと整備していった。
- [04] 唐の玄宗は、道教の熱心な支持者であり、自ら『老子注』を執筆した。
- [05] 清朝末期に欧米の思想が流入して政治制度の近代化が課題になると、儒教經典の理解を問う科挙は時代にあわないと考えられるようになり、廃止された。

[設問10]

下線部（コ）に関連して、夫やその父母に仕える儒教的な妻のあり方を示した『女誠』の著者であり、『漢書』を完成させた歴史家でもある人物を語群から選び、その番号を   にマークしなさい。

[設問11]

下線部（サ）に関連して、日本から唐に留学し『入唐求法巡礼行記』を残した天台宗の僧侶を語群から選び、その番号を   にマークしなさい。

[設問12]

下線部（シ）に関連して、地球環境問題に関わる説明として誤っているものを下から選び、その番号を   にマークしなさい。

- [01] 1972年にストックホルムで開催された国連人間環境会議では人間環境宣言が採択され、これをうけて、同年の国連総会で国連環境計画が設置された。
- [02] 1992年にリオデジャネイロで開催された「環境と開発に関する国連会議」では、リオ宣言が採択され、持続可能な開発を目指すことがうたわれた。
- [03] 1997年に京都で開催された気候変動枠組み条約の第3回締約国会議では、京都議定書が採択されたが、アメリカ合衆国はこれを批准しなかった。
- [04] 2009年にコペンハーゲンで開催された気候変動枠組み条約の第15回締約国会議では、京都議定書にかわる議定書の採択が目指されたが、実現できなかった。
- [05] 2015年にパリで開催された気候変動枠組み条約の第21回締約国会議では、21世紀後半に温室効果ガスの排出量を2000年比で実質半減させる目標が採択された。

[語群]

- |                |             |               |              |
|----------------|-------------|---------------|--------------|
| 01. アウストラロピテクス | 02. ウガリト    | 03. 円仁        | 04. キュレネ     |
| 05. 空海         | 06. クシャーナ   | 07. グリマルディ人   | 08. クロマニヨン人  |
| 09. 恵果         | 10. 最澄      | 11. サータヴァーハナ  | 12. サヘラントロプス |
| 13. 智顛         | 14. 張衡      | 15. 褚遂良       | 16. チョーラ     |
| 17. 陳寿         | 18. ナウクラティス | 19. ニカイア      | 20. ネアポリス    |
| 21. ネアンデルタール人  | 22. 班固      | 23. 班昭        | 24. 班超       |
| 25. パーンディヤ     | 26. 班彪      | 27. ホモ=エレクトゥス | 28. ホモ=ハビリス  |
| 29. マガダ        | 30. マッサリア   | 31. ラミダス猿人    | 32. 劉向       |



### 問題Ⅲ

以下の文章の空欄 (51) (52) から (57) (58) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (ク) に関連する設問 1 から 8 について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

1960年は「アフリカの年」とよばれる。なぜなら、この年にアフリカで17の国が一斉に、(ア) 植民地宗主国からの独立を果たしたからである。それ以降も多くの国の独立が続き、現在、(イ) 国際連合に加盟する約190カ国のうちの約50がアフリカに位置する。もっとも、これらの国が、(ウ) 主権国家として独立するまでには、歴史上多くの苦難があった。

15世紀のアフリカでは、ニジェール川流域のソングアイ王国やベニン王国、(51) (52) 川流域のモノモタパ王国、大陸北部のエチオピア帝国などが繁栄していた。しかし、16世紀頃から本格化するヨーロッパ諸国による、(エ) 奴隷貿易のため、アフリカ土着の政治・社会・経済は大きな打撃を受けた。奴隷貿易が廃止されるまでに約1千万人が主に南北アメリカに商品として輸出され、アフリカのなかでも奴隷貿易で人口が多く失われた地域では、一層の低開発状態が現在まで続いている。

一方で、奴隷貿易は欧米諸国に大きな富をもたらした。16世紀からポルトガル、オランダ、フランス、イギリスなどの商人は、スペインと貿易請負契約を結んでスペイン領アメリカに奴隷を送り、巨万の富を築いた。18世紀からはイギリスが奴隷貿易をほぼ独占し、それにより得た富で、(オ) 綿工業や重工業を繁栄させた。当時の啓蒙思想家のなかには、黒人に対する差別的な見解を示し、奴隷貿易を間接的に正当化する者もいた。例えばモンテスキューは『法の精神』において、黒人が身体、知性の上で劣っていると記している。これに対し、小説『カンディード』を著した啓蒙思想家 (53) (54) のように、奴隷制に対し批判的見解を示す者もいた。

19世紀に入ると、奴隷貿易の禁止および奴隷制の廃止が漸進的に実現した。しかしそれに代わってこんどは、(カ) ヨーロッパ諸国によるアフリカの植民地化が行われ、鉱物資源や農産物が収奪された。1884年から85年にかけてドイツの宰相ビスマルクのよびかけで開かれたベルリン会議では、アフリカに関しては最初に占領した国がその地域を領有できるという「先占権」が承認され、これ以降、植民地獲得競争が激化した。さらに、(キ) 19世紀後半には、列強はアフリカだけでなく世界各地に進出した。

列強による植民地支配開始と同時に、それに抵抗する動きがアフリカ各地で起こった。エジプトのウラービーの反乱、ドイツ領東アフリカでのマジマジ蜂起などである。スーダンではムハンマド＝アフマドが率いるマフディー派が武装闘争を行い、一時期は (55) (56) の制圧に成功した。反乱の多くは鎮圧されたが、アフリカ系住民の地位向上をめざす運動は次第に世界に広がり、1919年にはパン＝アフリカニズムの第1回会議（コンGRES）が (57) (58) らによって組織されパリで開かれた。パン＝アフリカニズムの精神は、(ク) アフリカ統一機構の設立につながり、現在のアフリカ連合に引き継がれている。

#### 〔設問 1〕

下線部 (ア) に関連して、1958年にセク＝トゥーレに率いられてフランスから独立した国はどこか。国名を語群から選び、その番号を (59) (60) にマークしなさい。

[設問 2]

下線部 (イ) の国際連合に関連する記述として誤っているものを下から選び、その番号を   にマークしなさい。

- [01] 集団安全保障の原理は国際連盟において採用され、その理念は国際連合に引き継がれた。
- [02] 国際連合憲章の原型となった理念は、1942年の連合軍共同宣言、1943年のモスクワ宣言にとり入れられ、サンフランシスコ会議において憲章として採択された。
- [03] インドやフィリピンは国際連合発足時には独立していなかったが、第二次世界大戦後の独立が宗主国との間で約束されていたので、先行して国際連合への加盟が認められた。
- [04] 国際連合発足時に、アメリカ合衆国、イギリス、ソヴィエト連邦、中華人民共和国、フランスが安全保障理事会の常任理事国となった。
- [05] 国際連合は、国際連盟における委任統治制度の対象となっていた地域のほとんどを信託統治制度のもとで引き継いだが、パレスチナは信託統治領とはならなかった。

[設問 3]

下線部 (ウ) に関連して、主権国家を構成単位とする国際体制原理の成立契機となったといわれるのが、30年戦争が終わった際に結ばれたウェストファリア条約である。30年戦争とウェストファリア条約に関する記述として正しいものを下から選び、その番号を   にマークしなさい。

- [01] 30年戦争のきっかけの反乱が起こったベーメンは、現在のドイツに位置する。
- [02] 傭兵隊長のヴァレンシュタインは、新教同盟と契約し、旧教徒側を敵にして戦った。
- [03] 30年戦争の舞台となったドイツの諸領邦の多くが疲弊したが、オスナブルックを首都とするプロイセン王国は戦争の影響をあまり受けなかったため、その後台頭した。
- [04] ウェストファリア条約によりネーデルラント北部はオランダとして独立が認められたが、南部はスペイン領ネーデルラントのままであった。
- [05] ウェストファリア条約ののち、スウェーデンは、グスタフ＝アドルフ王の治世のもとで「バルト帝国」とよばれるほどの大国となった。

[設問 4]

下線部 (エ) に関連して、イギリスの奴隷貿易反対勢力は、18世紀後半に、黒人奴隷のうち自由の身となった者をアフリカに入植させた。その土地の現在の国名を語群から選び、その番号を   にマークしなさい。

[設問 5]

下線部 (オ) に関連して、イギリスにおける奴隷貿易港の東に位置し、綿工業で栄えた都市の名前を語群から選び、その番号を   にマークしなさい。

[設問 6]

下線部 (カ) に関連して、アフリカの植民地化についての記述として正しいものを下から選び、その番号を

(69) (70) にマークしなさい。

- [01] ポルトガルは、15世紀の大航海時代からアフリカ進出を始め、バルトロメウ=ディアスの遠征により現在のアンゴラやモザンビークに拠点を築いた。
- [02] アフリカを探検したスタンリーは巨大な滝を「発見」し、それをヴィクトリア滝と名づけた。
- [03] ケープ植民地の首相であったセシル=ローズは、トランスヴァール共和国、オレンジ自由国の南側にローデシアを建国した。
- [04] イタリアはエチオピアに侵攻したが、イギリスの支援を受けたエチオピア軍はアドワの戦いでイタリアに勝利して独立を維持した。
- [05] ドイツは、19世紀後半にカメルーン、ドイツ領東アフリカ、ドイツ領南西アフリカ、トーゴを獲得した。

[設問 7]

下線部 (キ) に関連して、アジアやオセアニア等での列強による植民地化についての記述として正しいものを下から選び、その番号を (71) (72) にマークしなさい。

- [01] ロシアは、ヒヴァ=ハン国に次いでブハラ=ハン国を保護国化したのち、1876年にコーカンド=ハン国を併合した。
- [02] イギリスは、3度にわたる戦争ののち1885年にコンバウン朝を滅ぼし、ラングーンに政庁を置いた。
- [03] フランスは、1862年にアンナンを直轄植民地とし、その後、コーチシナ、トンキンを保護国化して清仏戦争に勝利し、フランス領インドシナ連邦を成立させた。
- [04] アメリカ合衆国は、1898年におこった米西戦争の勝利により、キューバ、グアム、ハワイ、フィリピン、ペエルトリコをスペインから獲得した。
- [05] オランダは、ジャワ島に17世紀から進出したが、1912年にスラウェシ島北端でのアチェ戦争に勝利し、現在のインドネシアにほぼ相当するオランダ領東インド植民地を完成させた。

[設問 8]

下線部 (ク) に関連して、(a) から (e) の国際機構が設立された年の順に並べたものを [01] から [12] より選び、その番号を (73) (74) にマークしなさい。

- (a) アフリカ統一機構
- (b) アラブ連盟
- (c) 石油輸出国機構
- (d) 東南アジア諸国連合
- (e) ヨーロッパ経済協力機構

- [01] (b) → (e) → (a) → (c) → (d)
- [02] (b) → (e) → (a) → (d) → (c)
- [03] (b) → (e) → (c) → (a) → (d)
- [04] (b) → (e) → (c) → (d) → (a)
- [05] (b) → (e) → (d) → (a) → (c)
- [06] (b) → (e) → (d) → (c) → (a)
- [07] (e) → (b) → (a) → (c) → (d)
- [08] (e) → (b) → (a) → (d) → (c)
- [09] (e) → (b) → (c) → (a) → (d)
- [10] (e) → (b) → (c) → (d) → (a)
- [11] (e) → (b) → (d) → (a) → (c)
- [12] (e) → (b) → (d) → (c) → (a)

〔語群〕

- |                 |            |               |            |
|-----------------|------------|---------------|------------|
| 01. アガディール      | 02. アドワ    | 03. ウィルバーフォース | 04. ヴォルテール |
| 05. ウッドロー=ウィルソン | 06. エリトリア  | 07. エンケルマ     | 08. カーボベルデ |
| 09. ガボン         | 10. ギニア    | 11. グラスゴー     | 12. コルネイユ  |
| 13. コンゴ         | 14. ザンベジ   | 15. シエラレオネ    | 16. スウィフト  |
| 17. セネガル        | 18. デフォー   | 19. デュボイス     | 20. トリポリ   |
| 21. ナイル         | 22. ニジェール  | 23. バーミンガム    | 24. ハルツーム  |
| 25. ブリストル       | 26. ベナン    | 27. マダガスカル    | 28. マリ     |
| 29. マンチェスター     | 30. モーリタニア | 31. モンロビア     | 32. ラシーヌ   |
| 33. リバプール       | 34. リビア    | 35. ロイド=ジョージ  |            |

## 問題 IV

以下の文章の空欄 (75) (76) から (93) (94) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (ウ) に関連する設問 1 から 3 について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

19世紀には、列強による世界進出とも相まって、本土からは離れ、他国とは陸続きで接する「飛び地」が数多く出現した。飛び地の形成は、あからさまな武力行使の結果であることもあれば、租借地の設定や、領土の買収によることもあった。世界各地に多数の植民地が存在していた時代は終わり、今や飛び地は稀なものとなりつつある。しかし、現代においてもなお、飛び地は時に深刻な問題を引き起こしている。

例えば、近年、香港では反政府デモが激化している。20世紀末に中国に返還されるまで、<sup>(ア)</sup>香港はイギリスの飛び地であったのだが、このことが香港の状況を複雑なものにしている。問題の起源は、列強が中国にいくつかの租借地や租界を設けたことにある。イギリスは、(75) (76) が創設した北洋艦隊の基地が置かれていた威海衛も清から租借した。租借とは条約によって他国の領土を借用することであるが、租借期間が99年と長期に設定されることも多く、租借した国が租借地の立法権・行政権・司法権を行使することもあり、事実上の領土割譲といえる。とはいえ、清も他国に租界を設定していた。一例を挙げれば、朝鮮戦争時の1950年9月に国連軍が上陸作戦を成功させたことで知られる現大韓民国の(77) (78) に、清は租界を設置した。

飛び地に関して頻繁に生じる問題の1つは、陸続きで隣接する国が返還要求を行い、緊張が生じることである。香港返還後もなお、イギリスがユーラシア大陸に領有し続けている飛び地があるが、その返還を求めている国もまた別の大陸に飛び地を領有しており、(79) (80) から返還を要求されている。また、緊張が武力衝突にいたることもある。イギリス同様、ポルトガルも世界各地に飛び地を有していたが、その1つであったゴアは、1961年にインドが武力を行使し、併合している。同じくポルトガルの飛び地であった(81) (82) は、1975年に独立宣言を発したものの、直後に隣接する国の軍事侵攻を受けて併合され、21世紀に入ってから独立を達成した。

ゴアや香港はヨーロッパの海洋国が交易の拠点などとするために占領あるいは租借したものであるが、大規模な戦争の結果として飛び地が形成された場合もある。第一次世界大戦後、ドイツから内陸国ポーランドに海への出口が割譲されたために、(83) (84) はドイツの飛び地となり、現在、その一部はロシアの飛び地カリーニングラードとなっている。トルコのトラキア地方も、本土と海で隔てられていることからすれば飛び地ということができ、<sup>(イ)</sup>トルコ系王朝がヨーロッパ諸国との戦争に勝利して獲得した地がその起源となっている。

アメリカ大陸に目を向けると、<sup>(ウ)</sup>ロシアの飛び地であったアラスカは、買収されてアメリカ合衆国の飛び地となった。パナマ運河地帯も、この地に総督を置いて統治したアメリカ合衆国の飛び地であったが、この飛び地によってパナマの国土もほぼ中央部で東西に分断されていた。アメリカ合衆国は、アメリカ大陸西海岸に面した初めての領土として(85) (86) を併合して以降、アラスカ、ハワイ、フィリピンと、領土を着々と獲得し、太平洋での影響力を強めようとしていた。それだけに、パナマ運河は太平洋への出口として重要だったのである。

香港やパナマ運河地帯は隣接する国へ返還されることにより飛び地ではなくなったが、独立や離脱により飛び地状態が解消される場合もある。西パキスタン政府の施策に不満を募らせた東パキスタンは、隣接する国の首相(87) (88) の支援を受け、独立した。アラブ連合共和国では、クーデタが発生した(89) (90) の離脱により、飛び地状態は解消している。

20世紀末になって新たに成立した飛び地もある。1993年のオスロ合意により成立したパレスチナ暫定自治区の領土は、イスラエルを挟んで2カ所に隔てられており、事実上の首都が存在するヨルダン川西岸地区が本土、ガザ地区が飛び地と

いえる。2007年、ガザ地区は急進派の (91) (92) によって制圧され、穏健派が統治するヨルダン川西岸地区と対立状態に陥り、イスラエルとの緊張も高まった。

2017年、中国の「一带一路」構想において重要な位置にある国 (93) (94) は、南部にあるハンバントタ港を99年間の期限で中国企業に貸し出すこととした。1954年に5カ国首脳が集まり、アジア=アフリカ会議の開催を提唱した会議が開かれたこの国の最大の都市や首都は西部にあり、南部は開発が遅れていたのである。このようにして、新たな飛び地がこれからも生まれていくのかもしれない。

[設問 1]

下線部 (ア) に関連して、現在の香港の領域に、イギリスが清の領土と陸続きで接する形で初めて飛び地を獲得したのは何年か。下から選び、その番号を (95) (96) にマークしなさい。

- [01] 南京条約が締結された1842年
- [02] 虎門寨追加条約が締結された1843年
- [03] 天津条約が締結された1858年
- [04] 北京条約が締結された1860年
- [05] 新界租借条約が締結された1898年

[設問 2]

下線部 (イ) に関連して、トルコ系王朝のヨーロッパ進出についての記述として正しいものを下から選び、その番号を (97) (98) にマークしなさい。

- [01] イェルサレムを占領していたセルジューク朝がボスフォラス海峡を越えてヨーロッパにも領土を獲得したため、それを脅威に感じたビザンツ皇帝は教皇ウルバヌス 2 世に助けを求めた。
- [02] 1453年、ビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルが陥落し、オスマン帝国に占領されたが、これがオスマン帝国にとって最初のヨーロッパ内の領土となった。
- [03] セリム 2 世は、対ハプスブルク同盟を結んだフランスの商人に領内での居住と通商の自由を認める特権を与えたが、その後この特権はイギリス、オランダの商人にも認められた。
- [04] 1571年、セリム 3 世治下のオスマン帝国は、スペイン、ヴェネツィア、ローマ教皇の同盟軍にレパント沖の海戦で敗れ、地中海での制海権を著しく後退させた。
- [05] イェニチェリは、チャルディランでの大会戦でサファヴィー朝の歩兵軍を圧倒したオスマン帝国の騎兵常備軍であり、ヨーロッパ諸国にとっても脅威であった。

〔設問3〕

下線部(ウ)に関連して、アメリカ合衆国がアラスカを買収した1860年代の出来事についての記述として正しいものを下から選び、その番号を   にマークしなさい。

- [01] 北アメリカでは、カナダ連邦がイギリスの自治領となり、白人植民者が多い植民地を自治領化して間接的に支配を行うイギリスの支配形態の先駆けとなった。
- [02] ロシアでは、トルストイが自らも体験したクリミア戦争の戦場と19世紀半ばの貴族の生活を描く歴史小説『戦争と平和』を執筆した。
- [03] オーストリア皇帝がハンガリー皇帝も兼ねるオーストリア=ハンガリー帝国が成立した。これは共通の政府や議会を持たず、外交、財政、軍事は完全に分けられた二重帝国であった。
- [04] 日本では、明治天皇が即位し、同じ年に明治政府が成立した。2回目のパリ万博もこの年に開かれ、岩倉具視を正使とした使節団や渋沢栄一らが視察した。
- [05] ポーランド独立運動を支援する組合活動家らがパリで第1インターナショナルを結成したものの、結成当初からマルクスとブルードンが対立し、数年で解散した。

〔語群〕

- |               |             |                     |                 |            |
|---------------|-------------|---------------------|-----------------|------------|
| 01. アリゾナ      | 02. アル=カーイダ | 03. アルゼンチン          | 04. アルバニア       | 05. アンゴラ   |
| 06. イラク       | 07. イラン     | 08. 仁川              | 09. インディラ=ガンディー |            |
| 10. インドネシア    | 11. 元山      | 12. ウルグアイ           | 13. エジプト        | 14. エチオピア  |
| 15. 袁世凱       | 16. オレゴン    | 17. カリフォルニア         | 18. ギアナ         | 19. 北マケドニア |
| 20. 左宗棠       | 21. ザール     | 22. シュレスヴィヒ・ホルシュタイン | 23. シリア         |            |
| 24. シンガポール    | 25. スーダン    | 26. スリランカ           | 27. セルビア        | 28. 宋教仁    |
| 29. 曾国藩       | 30. タイ      | 31. ターリバーン          | 32. ダンツィヒ       | 33. 濟州島    |
| 34. 張之洞       | 35. 大邱      | 36. 大田              | 37. ナラシンハ=ラーオ   |            |
| 38. ネヴァダ      | 39. ネルー     | 40. バース党            | 41. ハマース        | 42. 板門店    |
| 43. 東ティモール    | 44. 東プロイセン  | 45. ファタハ            | 46. プット         | 47. ブラジル   |
| 48. ブルネイ      | 49. マカオ     | 50. マレーシア           | 51. ミャンマー       | 52. モザンビーク |
| 53. モロッコ      | 54. ユタ      | 55. ヨルダン            | 56. ラインラント      |            |
| 57. ラジブ=ガンディー |             | 58. 李鴻章             | 59. ルール         | 60. レバノン   |